



AIチャットボットさくらさん

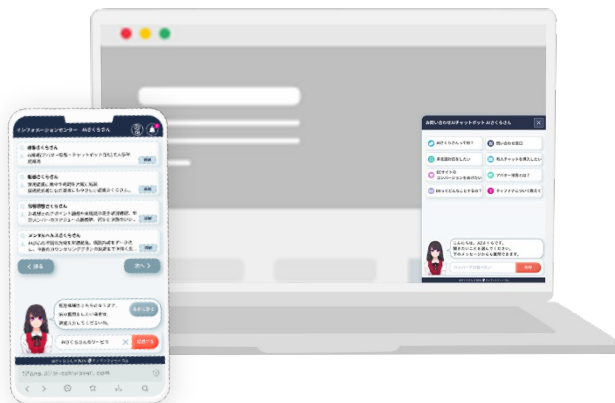


生成AI×AIさくらさん

企業に蓄積されたデータを取り込み 自然に対話できるチャットボット

2016年からサービス開始

大手企業様から圧倒的な支持をいただいています！



AIチャットボットさくらさんが 他社と違う 3つの理由

生成AIを搭載しています

マニュアルや資料、画像などを基に
よくある質問とその回答を自動生成します

カスタマイズして納品します

御社の実現したいことに合わせて
独自に開発・カスタマイズします

12種類のDX商品が揃っています

チャットボットだけでは解決
できない業務課題まで支援します

こんなお悩みありませんか？

チャットボット導入したが
運用がうまくいかなかった



問い合わせが膨大で
顧客を数日待たせてしまう

AIチャットボットさくらさんでできること

自然な対話を実現

生成AIがFAQを自動生成、
対話を通してAIが
疑問を解決します



高度なセキュリティ対策

堅牢なセキュリティ基準を設け、
生成AI利用時の
情報漏洩も防ぎます



AIによる利用傾向分析

傾向をもとにチューニングまで
行うため、メンテナンスに
時間を取られません



AIチャットボットさくらさん導入による成果

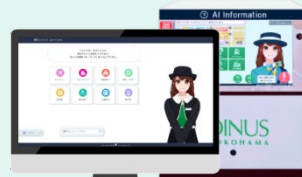
例1 西川株式会社

Webサイト上に導入し寝具に関する問い合わせに対応することで、コールセンターの受付時間外も問い合わせ対応が可能になり、とても助かっています。また、普段のお問い合わせではいただかないお客様の生の声を月1,000件以上獲得できました。



例2 相鉄ジョイナス（相鉄ビルマネジメント）

WebサイトでのAIチャットボットさくらさんの導入に加え、商業施設内にデジタルサイネージ（アバター接客さくらさん）を導入することで、有人インフォメーションへの問い合わせ件数を半減させることができました。



各業界の大手企業様に数多く導入いただいております

最高裁判所
Supreme Court of Japan



※その他、実績多数

AIさくらさんが選ばれるのは理由があります

チャットボット導入で重要なのは、「運用が楽であること」です。いくら低料金・多機能でも、運用に乗らなくては意味がありません。AIさくらさんは登録と調整をAIが行うため、お客様の手を煩わせることなく運用可能。一度チャットボットの運用に失敗した企業様にも安心して導入いただいております。

導入の流れ

01

御社の業務に合わせて
カスタマイズして
納品します

02

AIがマニュアルを分析、
FAQを生成します

03

御社専用の運用担当が
サポートします

04

AIが課題を発見・改善
まで行います

料金プラン

ライトプラン

18万円

ベーシックプラン

38万円

※初期費用は15万円～90万円となっております。（他社からの乗り換えやカスタマイズ要件による）

※AIさくらさんシリーズの他のDX商品を追加で導入いただく場合は初期費用をお値引きしてご提供いたします。



成功へ導く！チャットボット導入完全ガイド

1 チャットボットの導入目的を明確にしましょう

導入の目的として、具体的な課題解決や目標達成が明確に定義されているかを確認します。

☐

2 チャットボットに学習させる内容や範囲を明確に決めましょう

チャットボットが学習するFAQの内容や範囲が明確になっているかを確認します。より具体的な質問と回答のイメージが必要です。

☐

3 導入後の運用担当者を事前に決めておきましょう

チャットボットの運用担当者を確保できるかを確認します。適切な訓練やリソースが提供されることが重要です。

☐

4 エンドユーザーのニーズを把握しておきましょう

チャットボットの利用対象となるエンドユーザーのニーズや要望を把握しているかを確認します。それに基づいてカスタマイズや改善ができるようにする必要があります。

☐

5 対応する言語の範囲を決めておきましょう

チャットボットが対応する言語の範囲が明確になっているかを確認します。特定の言語に限定するのか、多言語対応が必要なのかを検討します。

☐

6 ベンダーのサポート体制が充実しているか事前に確認しましょう

チャットボットの導入ベンダーが適切なサポート体制を提供しているかを確認します。トラブルシューティングや技術的な問題に迅速に対応できることが重要です。

☐

7 チャットボットを設置する場所や導線が最適か確認しましょう

チャットボットの設置場所やウェブサイト上での導線がユーザーにとって最適かを確認します。利用しやすく、目立つ位置に配置することが重要です。

☐

8 チャットボットを設置する際のバナーは分かりやすいものにしましょう

チャットボットの存在をユーザーに明示するためのバナーが分かりやすいデザインや表現になっているかを確認します。ユーザーがチャットボットを利用できることを認識しやすくするのに重要です。

☐

9 チャットボット導入による費用対効果を確認しましょう

チャットボットの導入に伴う費用対効果を検討し、予算との整合性があるかを確認します。コストと期待される効果をバランス良く評価する必要があります。

☐

10 ユーザーの利用データの活用方法を決めておきましょう

チャットボットの利用データをどのように収集し、分析し、活用するかを明確にする必要があります。それに基づいてチャットボットの改善や最適化が行えます。

☐